

【原則 3-1 情報開示の充実】

(v) 取締役会が上記(iv)を踏まえて経営陣幹部の選解任と取締役・監査等委員候補の指名を行う際の、個々の選解任・指名についての説明

取締役会長 長尾正己	技術部門の責任者を歴任し、管理部門（総務・経理）を統括する専務取締役を経て、現在は取締役会長を務めており、豊富な業務上の専門的知識と経験を有していることから、引き続き取締役会長として社長を補佐し経営の監視を担うことが最適であると考えられるため。
代表取締役社長 伊藤秀和	技術部門・営業部門の責任者を歴任し、現在は会社の最高責任者として業務全般を統括する代表取締役社長を務めており、豊富な業務上の専門的知識と経験を有していることから、引き続き代表取締役社長として経営を担うことが最適であると考えられるため。
常務取締役 大川稔	技術部門の責任者を経て、営業担当取締役としての経験が長く、現在も営業担当の常務取締役を務めており、豊富な業務上の専門的知識と顧客との長い経験を有していることから、引き続き常務取締役として経営を担うことが最適であると考えられるため。
取締役 水谷慎介	当社経理部門の経験と他社でのシステム開発の経験を活かし、現在は社内の情報システム部門を統括する取締役を務めており、内部統制において重要な位置を占めるIT統制を中心にこれまでの専門的知識と経験を活かし、引き続き取締役として経営を担うことが最適であると考えられるため。
取締役 仲原龍	技術部門の責任者を歴任し、現在は技術部門を統括する取締役を務めており、豊富な当社受託開発業務上の専門的知識と経験を有していることから、引き続き取締役として経営を担うことが最適であると考えられるため。
取締役 山下一浩	長年に渡り管理部門（総務・経理）の責任者経験し、現在は管理部門を統括する取締役を務めており、当社財務に係る業務上の専門的知識と豊富な経験を有していることから、引き続き取締役として経営を担うことが最適であると考えられるため。

<p>監査等委員 斉藤敏男 (取締役)</p>	<p>技術部門の勤務経験を経て、当社事業の詳細に精通していることから、内部監査室長に就任、現在は常勤の監査等委員に就任しており、当社の事業実態を熟知していることから、引き続きその経験と実績を当社の監査に役立てられると考えられるため。</p>
<p>監査等委員 加藤勝也 (社外取締役)</p>	<p>当社の事業領域である情報技術の分野で開発・企画・営業と多岐にわたる業務知識と経験を有しており、加えて取締役として会社経営についての経験も豊富であることから、現在は非常勤の社外取締役監査等委員に就任しており、引き続きその経験と実績を当社の監査に役立てられると考えられるため。なお、当社と加藤勝也との間には利害関係はなく、一般株主との利益相反が生じるおそれはありません。</p>
<p>監査等委員 上久保博幸 (社外取締役)</p>	<p>当社が事業対象とする製造業において、情報技術を活用する立場で多彩な経験を積んでおり、製造現場における工場長としてラインの管理以外に人事労務管理に関する経験を多数有しており、加えて取締役として会社経営についての経験も豊富であることから、現在は非常勤の社外取締役監査等委員に就任しており、引き続きその経験と実績を当社の監査に役立てられると考えられるため。なお、当社と上久保博幸との間には利害関係はなく、一般株主との利益相反が生じるおそれはありません。</p>
<p>監査等委員 神谷俊一 (社外取締役)</p>	<p>企業法務の分野を専門とする弁護士であり豊富な専門知識と知見を有しており、経営の監督とチェック機能の観点から社外取締役監査等委員として十分な資質があると判断し2019年8月29日開催の株主総会において新任の社外取締役（監査等委員）として選任しております。なお、当社と神谷俊一との間には利害関係はなく、一般株主との利益相反が生じるおそれはありません。</p>